

筆遊び彩書 ● 目次

はじめに
「筆遊び彩書」とは?
3 2

●始める前に
6

基本となる画材	6
水筆べんの使い方	8
手筆を使ってみよう	8
点の練習	11
線の練習	14

コラム●はがきを彩るテクニック
16 17

第一章・筆遊び12ヶ月

●一月

松	18
風	20
夢	21
およろこび	22
春	23
十二支	24

●二月

福ハ内

うめ

雪消月

29

28

26

●三月

桃

やよい

沈丁花

33

32

30

29

28

26

●四月

桜

菜の花

36

34

33

32

30

29

28

26

●五月

桜

菜の花

37

36

34

33

32

30

29

28

26

●六月

おとうさん

あじさい

41

40

38

37

36

34

33

32

30

29

28

26

●七月

春

流

夏

暑

暁

45

44

42

41

40

38

37

36

34

33

32

30

29

28

26

51 50 49 48 46

45 44 42

●八月

ひまわり
すいか
炎
.....

55 54 52
.....
.....
.....
.....

●九月

ぶどう
萩
秋桜
.....

59 58 56
.....
.....
.....
.....

●十月

秋
柿
稻
.....

60 62 63
.....
.....
.....
.....

●十一月

紅葉
赤い実
葉
.....

64 62 63
.....
.....
.....
.....

●十二月

ゆず
かぜ
Merry Christmas
.....

68 70 71
.....
.....
.....
.....

言葉
.....

コラム●届けたい言葉を書く
.....

72

第二章・創作へのヒント

●ステップアップ

「筆遊び彩書」の出来るまで 74
一つの文字をアレンジする 76
色合わせを楽しむ 75
はがき以外の作品への応用 78

コラム●はがきを送りたい主な年中行事
.....

81

●日本の美しい言葉

暦月の名前
二十四節気
季語のいろいろ
.....

86 84 82
.....
.....
.....
.....

あとがき
.....

95





一月

新しい一年のスタートです。日本を代表する「松」からレフスンを始めましょう。一年中青々とした葉を保つことから、古来より縁起の良い植物とされてきました。松は、年賀状にぴったりです。

松葉をイメージして濃い緑色を作り、松葉のように鋭い線で書くと、文字が引き締まります。松の緑に負けないような濃い金色で、「松ぼっくり」に見立てた「ム」を書いて、「松」の字を完成させます。結婚・敬老・叙勲のお祝いなどにも使えると思います。

①②は離鉢で入り、短くて鋭い線を引きます。



※図中の丸つき数字は、筆順を表わしています。

「松」……年賀状



書き方の手順

筆彩色の色名は、分かづやすじゅうじーを括って表わしています。



- 4 「公」の上部「ハ」が乾いたのを確認して、【パール金】で小さなにじみを重ねます。



- 1 なるべく細い筆で、「木」を書きます。松葉をイメージして、【緑青】+【若葉】を使いました。濃い色で、先端のとがった松葉の様子を表わすように書きましょう。



- 5 筆べんやサインペンなどで、添え書きを入れ、雅印を押します。



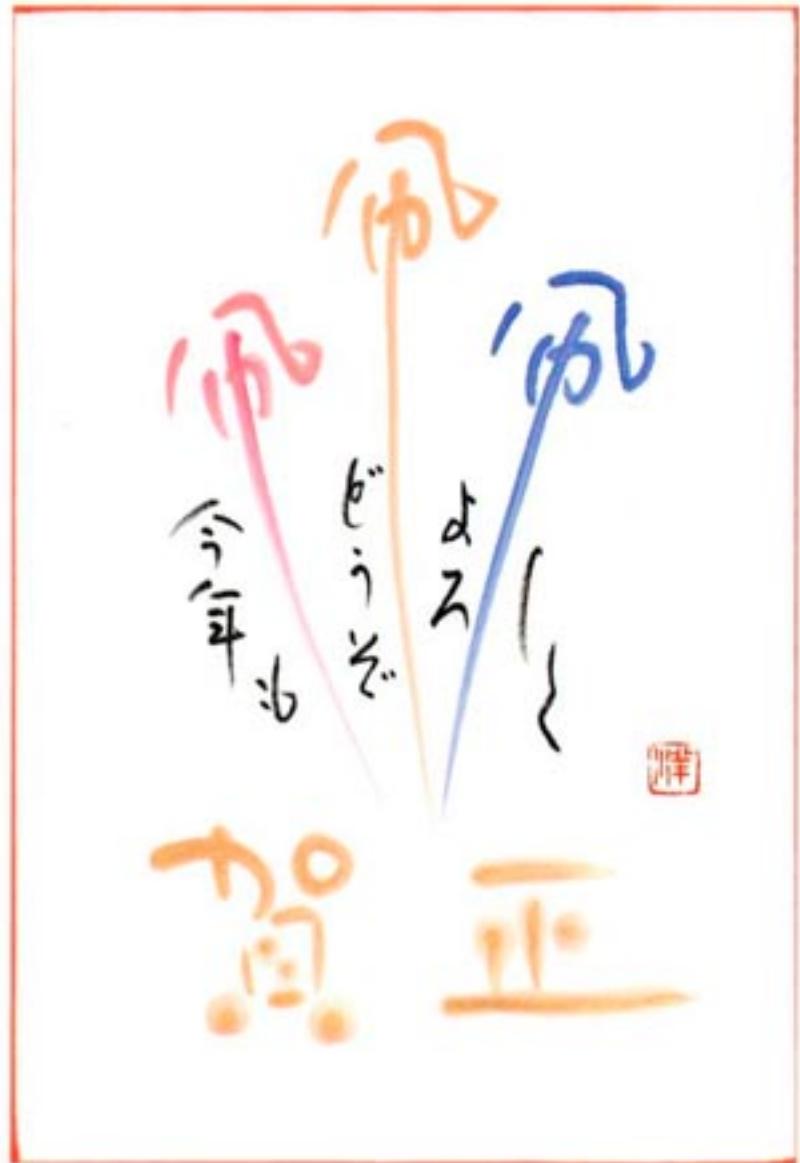
- 2 同じ色で、「公」の上部「ハ」を、松葉のような形に書きます。



- 6 緑色のマーカーで線を塗って、完成です。



- 3 【パール金】で「公」の下部「ム」を、松ぼっくりに見立てて三角形に書きます。水を少なくして濃いめに書くことで、厚みが出ます。



「風」……年賀状

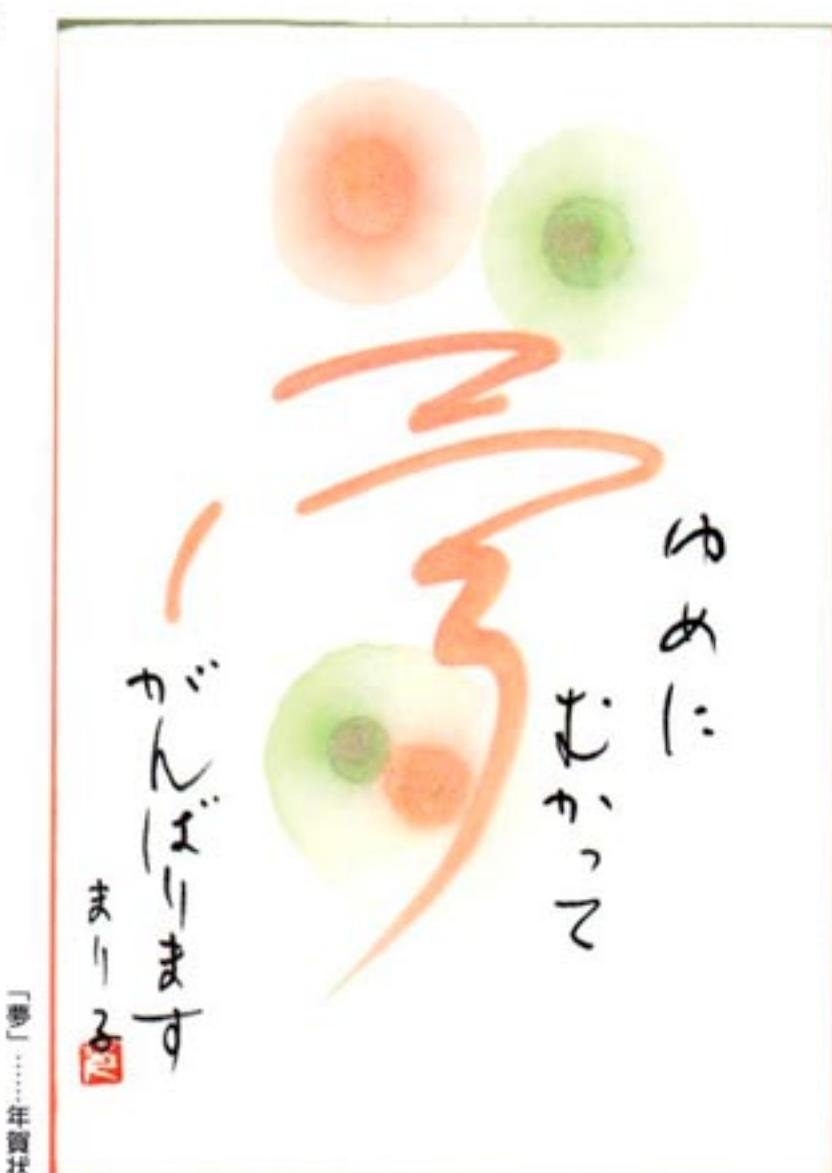
書き方のポイント

- 1 「風」という字を、風に見立て、大空に揚がっているように書きます。
- 2 五画目は始筆をゆっくりためて、糸を引くように筆を運びましょう。

五画目の始筆は、ゆっくりためて入ります。



- 3 いろいろな色を使い、中心に集めるよう、いくつか書きます。
- 4 下の余白に【朱】+【パール金】で、「賀正」と書き入れると、全体が引き締まります。



書き方のポイント

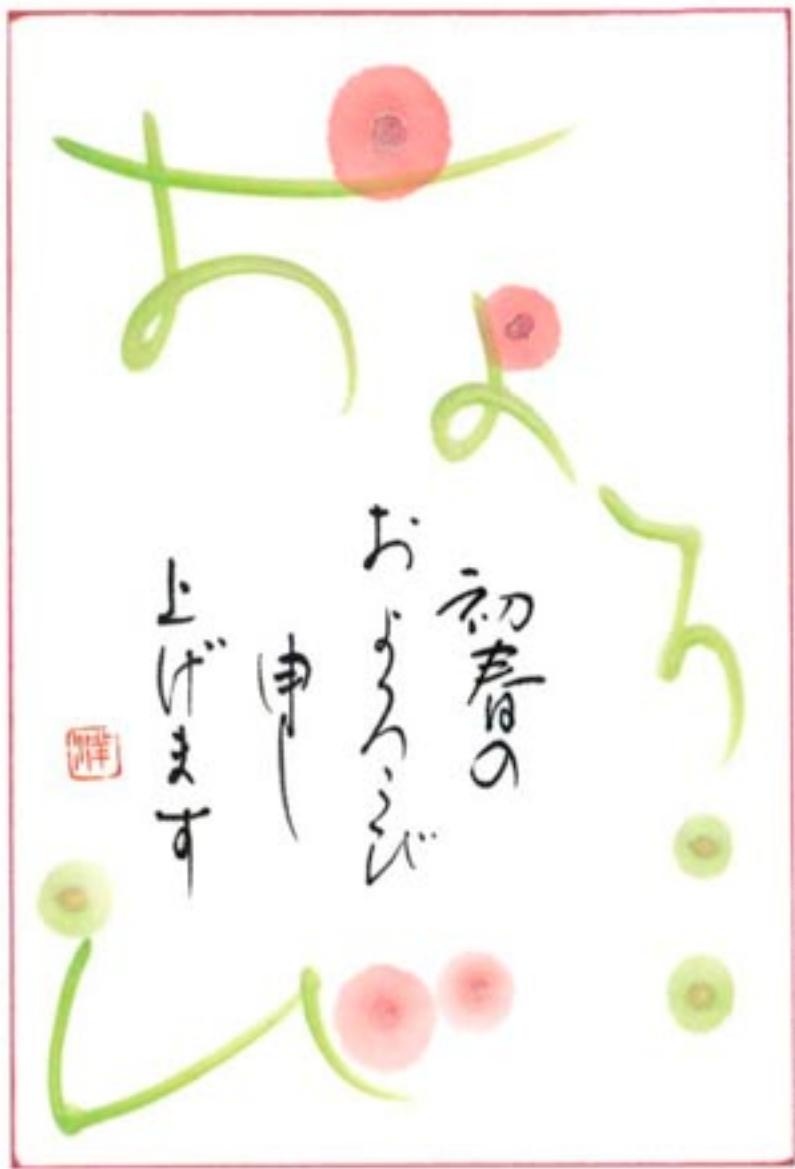
1 【朱】 + 【バール橙】と【若葉】 + 【バール黄緑】で、「夢」を書きます。

2 「夢」は、草書風にくずして書きます。
草かんむりは、二つの丸いにじみで表わします。

3 草かんむりに統けて、【朱】 + 【バール橙】で、流れるように運筆します。

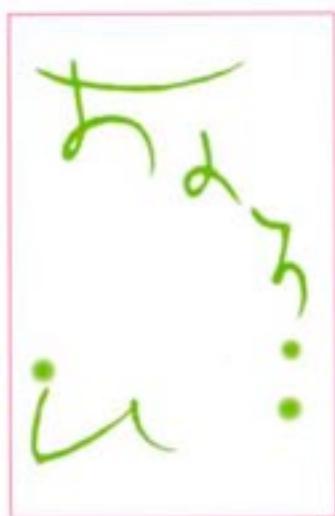
4 「タ」の最後の点を書く時は、それぞれの色を含ませた筆を一本ずつ用意します。それを両手に持つて同時に丸くにじませましょう。





「およろこび」……年賀状

1 若竹をイメージして【若葉】 + 【バール金】を使い、「およろこび」を、一部の点画を除いて書きます。「こ」の一、二画と「ひ」の一画目は、丸くにじませましょう。



書き方のポイント

3

丸いにじみの大きさを意識して変えるのが、リズミカルに見せるコツです。

2 書き残しておいた「お」の点、「よ」の横画、「び」の濁点は、爽やかで優しい【燕脂】 + 【バール赤】で補足します。



'春'……年賀状

書き方のポイント

1 門松の色をイメージして、「若葉」+「パール金」で、「春」を書きましょう。横画を長めに書いて、これからの未来に向かうようなイメージを表わします。五画目も伸びやかに引きましょう。

2 「日」は、外側から中心に向けて渦巻状に書きます。



3

「春」に花を添える意味で、色とりどりのにじみを入れます。【朱】+【パール橙】、【燕脂】+【パール赤】など好みの色を筆につけ、大きさに変化をつけて丸くにじませます。

4 添え書きも、これから歩む新しい一年の道のりを表わすように、ゆるやかな曲線状に入れましょう。